

Adobe® LiveCycle® ES: Business Transformation Edition

リッチでセキュアなビジネスコミュニケーションに必要な LIVECYCLE のコンポーネントをスイート化。社内外、オンライン、オフラインを問わない業務プロセスの構築とセキュアコラボレーションを実現

顧客志向型アプリケーションの特徴

- データの手入力作業を排除し、データの収集、ブロード、および処理にかかるコストを削減
- 高度なビジネスロジックおよびビジネスルールの適用とデータ検証を行うことで、データの精度を向上
- 利用者にリッチでインタラクティブな操作環境と、レスポンスタイムの向上をクロスプラットフォーム環境で提供
- ファイアウォールを越えて、企業プロセスの適用対象を外部の顧客、パートナー、サプライヤへも拡大
- あらゆるビジネスシステムと統合するプロセスを効率化
- 定型またはアドホックなワークフローをオンライン、オフラインいずれの環境でも実現
- パersonナライズされたドキュメントをセキュリティ規準やビジネスルールに基づいて自動生成

企業はこれまで、ビジネスプロセスを自動化するために多大な投資を行ってきました。この結果、効率化されたワークフローは日々変化するビジネス状況にも迅速に対応できるよう、高い柔軟性を実現するようになってきています。ただし、これは企業内での話に過ぎません。こうしたプロセスをファイアウォール外でも適用することが試みられてはいるものの、依然として顧客、パートナー、サプライヤとの交流は、オフラインの打ち合わせなどで済まされているケースがほとんどです。例えば、行政機関のサービスにはオンラインで提供されているものが多いにもかかわらず、実際には窓口に向いて手続きを行う人が全体の 60% を占めています。また、基本的な銀行取引をオンラインで行う人に限っては、わずか 10% に過ぎません。

ビジネスプロセスに欠かせない、顧客とのやり取りをオンラインで済ませられるようにすることで、システム提供側からは、スピーディーな処理と正確なデータの管理はもちろん、サービス品質の向上やさまざまな対応時間の短縮が期待できます。しかし、実際には、オンラインによるビジネスプロセスの多くがシステムの利用者側にとっては、直感的かつ使いやすい形で提供されていないため、顧客とのインタラクティブなやり取りの普及が進んでいないのが現実です。こうした状況を変えるには、複雑なステップを排除し、パーソナライズされたインタラクティブなやり取りを可能にすることが不可欠です。そうすることで、これまで顧客とのやり取りの際に発生していたギャップを取り除き、一貫したビジネスプロセスを構築することができます。

リッチでインタラクティブなユーザ体験が、より多くの顧客とのやり取りを加速

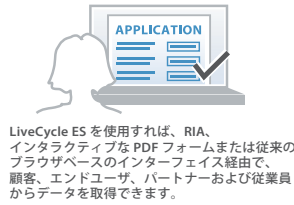
Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition は、リッチインターネットアプリケーション (RIA) の作成と、顧客、パートナー、サプライヤを含めたビジネスプロセスの自動化を可能にする強力なソリューションコンポーネントの集合体です。Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition は、取得したデータの処理を自動化するための最善の機能を提供します。プロセスの設計、実装はもちろん、実際のプロセスをモニタリングし、最適化を行う機能も含まれています。

Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition は、ERP や CRM などの企業内システムと外部向けのトランザクションシステムの間にある溝を埋め、データキャプチャやプロセス管理から情報精度の保証や、データおよびドキュメントの出力に至るまで、エンドツーエンドの処理を実現する有用性の高いアプリケーション開発を可能にします。

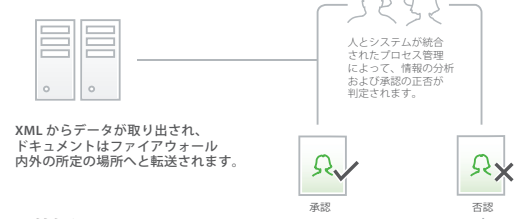
直感的な操作環境で、オンライン利用率を向上

顧客の多くが、オンラインサービスの利用にストレスを感じていると言っても過言ではありません。どこから手をつければ良いのか、また、情報の安全性が確保されているかが明確ではないため、利便性より不安や不満が勝り、最終的にはオンライン処理の利用をあきらめてしまう結果となります。これにより、処理の遅れや、コールセンター回線の混雑等が発生し、ビジネス機会の損失を招くことになります。また、オンラインで入手できなかった情報やデータを手作業で収集、処理、そしてシステムへ再入力しなければならぬため、結果的に多くのエラーや手戻り処理が発生してしまいます。

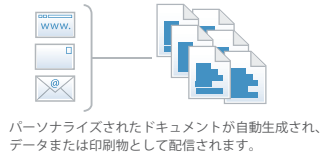
1. データキャプチャ



2. プロセス管理



4. ドキュメント出力



3. 情報保証



オンライン処理に対する顧客の不満を解消するには、LiveCycle ES Business Transformation Edition を使用して Adobe Flash® Player さえあれば誰でも利用できる、直感的な RIA ベースのガイド付き入力フォームを開発・展開することが得策です。このガイド付きフォームは、ウィザード形式で利用できるリッチな入力環境を提供し、所定のロジックに基づいた正確なオンライン処理を支援します。また、入力された情報の妥当性、精度、完全性を保証することができるため、結果として入力時の使い勝手と、コンバージョンレートの大幅な改善が可能になります。

フォームの利用が義務付けられた行政機関などの組織では、利用者がガイド付きフォームを用いて申請手続きを行い、手続きの記録として PDF ドキュメントを入手できるようにすることが可能です。この際、PDF フォームはオリジナル文書の表示体裁を忠実に再現することができます。この際、利用者はリッチなガイド付きフォームと、インタラクティブな PDF フォームの双方を自由に行き来することができ、入力中の情報を一時的に保存し、オフライン状態の都合の良い時に、残りの入力作業を行うといった使い方にも対応することができます。また、オンライン状態に復帰した時点で再びリッチなガイド付きフォームでの作業に戻れるよう、オフライン作業時の入力内容を自動的にガイド付きフォームへと同期させることが可能です。

アプリケーションビルディングブロックおよび標準ベースのフレームワークが開発時間を大幅に短縮
インテリジェントなデスクトップアプリケーションの使いやすさと柔軟性、そして従来の Web アプリケーションの広範な配信性、この両方を併せ持つアプリケーションの開発が課題となっています。

LiveCycle ES Business Transformation Edition では、LiveCycle ES Foundation や各種関連開発ツールなど、開発期間の大幅な短縮を可能にする一連のリソースが開発者に提供されます。Adobe LiveCycle Workbench ES を含むこれらのリソースを利用することで、開発者は最小限の時間、コードおよび労力で、顧客とのインタラクションに用いるアプリケーションを開発・展開することができます。また、これらのリソースの統合的なアーキテクチャと新しい Eclipse™ ベースの統合開発環境 (IDE) が、より迅速かつ効率的なインタラクションアプリケーション開発を支援します。しかも、開発者、デザイナー、ビジネスアナリストなどの関係者がコラボレーション方式で作業を進めながら、既存のアーキテクチャに適合した顧客エンゲージメントアプリケーションを開発・展開することができます。この際、HTML、PDF、Flash、など、顧客にとって最も利便性の高いユーザーインターフェイスでドキュメント、フォームおよびプロセスを展開するとしても、単一の XML テンプレートを使用して対応することができます。RIA と LiveCycle および J2EE のバックエンドとの接続は、LiveCycle Data Services ES の機能により、リモートオブジェクトや、AMF3 によるバイナリ通信を利用できるため、効率のよい開発と、高速なデータ連携を実現します。

あらゆるドキュメントをパーソナライズされた強力なコミュニケーションへと変換

Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition を利用すれば、高度にカスタマイズされたコミュニケーションの提供を通じて顧客満足度を向上させることができます。また、ドキュメント出力に求められる仕様に準拠し、定期レポート生成を自動化することで、コンプライアンス対策の強化にも貢献することができます。この際、PDF/A-1a などの最高レベルのアーカイブ標準規格に準拠した ISO 標準出力フォーマットによるドキュメントの出力も可能です。これらのドキュメントには電子署名や DRM も適用できるため、署名が必要なプロセスを電子化し、配布後にわたっても、コンテンツや情報の機密性をコントロールすることができます。

信頼性の高い機密データ処理

Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition には、セキュアな情報交換を実現するサービス、機能、ポリシーおよびプロセスが含まれています。また、優れた機密性、プライバシー、認証機能、完全性、否認防止機能および可用性を提供することで、組織の機密情報保護を支援します。これからは、情報のライフサイクルに応じたセキュリティ対策を講じて、顧客、パートナーおよびサプライヤと、さらに安全に連携することが可能です。組織内外の違いや、使用するストレージまたは通信経路にかかわらず、常に頑強なセキュリティ策を講じることができます。さらに、アドビのセキュリティパートナーのエコシステムによって、ID およびアクセスの管理、シングルサインオン、公開鍵インフラストラクチャ、スマートカード、バイオメトリクスをはじめとする、多彩なセキュリティインフラストラクチャとの相互運用性が提供されています。

LiveCycle ES Foundation

LiveCycle ES Foundation は、LiveCycle ES ソリューションコンポーネントの展開、実行、管理を可能にする基本的なサーバ機能を提供します。この中にはフォーム、フラグメント、画像、プロセス、コンポーネント、スキーマといった共通資産の共有と集中管理を可能にするリポジトリも含まれます。また、アプリケーションの展開、管理を簡素化するための管理ツールとして LiveCycle Configuration Manager と LiveCycle Administration Console が含まれています。

開発ツール

LiveCycle Workbench ES と LiveCycle Designer ES

Eclipse ベースの IDE である LiveCycle Workbench ES は、HTML または PDF 形式のフォーム、RIA ベースのフォームガイド、各種プロセスおよび出力テンプレートを作成するための統合オーサリング環境を提供します。LiveCycle Workbench ES を利用することで、フォーム、フラグメント、画像、プロセス、コンポーネントおよびスキーマの管理が容易になります。また、フォームフラグメントにより、膨大な数のフォームテンプレートを一斉に更新することが可能です。この際、フラグメントのいずれかが更新されると、当該フラグメントを参照するすべてのテンプレートがあわせて更新されます。開発者は、LiveCycle Workbench ES のプロセスデザインパースペクティブを利用して、自動化が必要とされるワークフローおよびビジネスプロセスの視覚的なプロセスマップを作成することもできます。

LiveCycle Workbench ES には Adobe LiveCycle Designer ES が組み込まれています。これにより、高品位なレイアウト表示と XML データ処理機能が組み合わさった、リッチで魅力的なフォームやドキュメントが手軽に作成できます。また、より安全なデータのキャプチャと処理を支援できるよう、デザイナーはグラフィカルなインターフェイスを利用しつつ、Adobe PDF、SWF または HTML 形式で展開できるインテリジェントな電子フォームを短時間で作成することができます。デザイナーはフォームのビジネスロジックを容易に定義し、直感的なガイド付きフォームを構築することができます。また、フォームフィールドをバインドしてインタラクティブなフォームを作成したり、PDF、PostScript などのアウトプット用のフォーム開発にも適用することができます。

ソリューションコンポーネント

LiveCycle Forms ES

Adobe LiveCycle Forms ES を導入すれば、企業や組織の垣根を越えて、コアビジネスプロセスの適用範囲と利便性を拡大できます。XML ベースのフォームテンプレートを HTML、PDF または SWF 形式で、あらゆるプラットフォーム、デバイス向けに展開することができます。また、利用者から受け取ったフォームからデータを抽出して、組織のコアシステムへと直接転送することで、フォーム主体のビジネスプロセスの能率化はもちろん、データ精度の向上も実現できます。さらに、Adobe LiveCycle Output ES と連携することで、パーソナライズされたドキュメントの印刷を自動化したり、印刷出力を既存のコミュニケーションワークフローに統合することも可能です。

Engaging beyond the enterprise™

Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition は、顧客への情報提示や、顧客からの情報入力を直感的かつ斬新な方法で改善し、顧客とのやり取りの際に発生しがちなギャップを緩和するアプリケーションの開発を支援します。標準ベースのフレームワークとアプリケーションビルディングブロック、強力なソリューションコンポーネントを組み合わせることで、アプリケーション開発時間の短縮はもちろん、ドキュメントを強力なコミュニケーション媒体に変化させるとともに、機密性の高いプロセスへの対応も実現します。LiveCycle ソリューションなら、ビジネスアプリケーションの適用範囲を拡大しつつ、コスト削減と業務の効率化を実現することが可能です。

詳細情報

Adobe LiveCycle ES Business Transformation Edition について詳しくは、www.adobe.com/jp/products/livecycle をご覧ください。



アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe Systems Incorporated

345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA
www.adobe.com

LiveCycle Data Services ES

LiveCycle Data Services ES は、RIA ベースのガイド付きフォームで用いられる包括的なデータ対応機能セットを提供します。強力なデータサービスアーキテクチャとプログラミングモデルが提供されることにより、RIA では、クライアントとサーバ間のデータ同期、膨大なレコードセットの自動ページ割り当て、各種処理の制御、コンフリクトの管理がすべて可能になります。これらの機能により、より少量のコード、より低いリスク、そしてより短期間で、最適な RIA 環境を提供することができます。また、強力なメッセージング機能やリアルタイム機能を利用することで、拡張性と信頼性に優れたデータ連動アプリケーション、オフライン対応アプリケーション、プッシュ配信型のデータアプリケーションが構築できます。LiveCycle Data Services ES は、J2EE の Web アプリケーションの標準技術に対応しているため、既存のアプリケーション、バックエンドデータ、LiveCycle ES ドキュメント、およびプロセス管理サービスとも容易に統合できます。

LiveCycle Reader® Extensions ES

Adobe LiveCycle Reader Extensions ES を使用すれば、Adobe PDF ファイルに各種権限を付与することができ、無償配布の Adobe Reader (バージョン 7.0.5 以降) でも、より高度でインタラクティブな機能を利用できるようにすることが可能です。権限付与された PDF ファイルでは、入力済みのフォームのコピーをローカルで保存することはもちろん、コメントや注釈の追加、ドキュメントへの電子署名付与、オンラインまたはオフラインでのフォームの提出がすべて可能です。これにより、単に PDF フォームの機能性を拡充するだけで、インタラクティブな電子フォームプロセスの適用性を顧客、エンドユーザ、パートナーへと拡大することができます。

LiveCycle Process Management ES

Adobe LiveCycle Process Management ES は、オンライン、オフラインの違いを問わず、ビジネスプロセスや各種タスク管理に対して、今までになく高度な制御性を提供します。LiveCycle Process Management ES は、人、システム、ドキュメント、ビジネスルール、Web サービスといった数多くのビジネスプロセス構成要素を、自動化されたエンドツーエンドのプロセスに統合します。

LiveCycle Digital Signatures ES

Adobe LiveCycle Digital Signatures ES はサーバ環境に電子認証機能を提供することで、ドキュメントの信頼性および完全性を保証しつつ、ビジネスプロセスのオンライン化、コスト削減、顧客満足度の向上を実現します。

LiveCycle Rights Management ES

Adobe LiveCycle Rights Management ES は、電子ドキュメントを管理および監視するための強力かつ永続的なソリューションを提供します。機密性、プライバシーおよびポリシーを永続的に保護することで、オンライン・オフラインの違いやファイアウォール内外の違いを問うことなく、電子ドキュメントのライフサイクル全体を通して、アクセス制御、アクセス権限の取り消し、版数管理、利用履歴の確認が可能になります。

LiveCycle Output ES

Adobe LiveCycle Output ES を使用すれば、パーソナライズされたドキュメントを電子データまたは印刷物としてダイナミックに生成できます。あらかじめ用意したテンプレートと、CRM、ERP、レガシーシステム、またはその他のコアアプリケーションから抽出したデータを自動的に組み合わせることで、電子明細書、契約書、提案書、入会キット、納品書などのさまざまなドキュメントが生成できます。また、自動生成されたドキュメントを既存の PDF ファイルに結合して、カスタマイズされたドキュメントパッケージを生成したり、印刷やアーカイブ用にファイルを自動変換することもできます。LiveCycle ソリューションの一部として提供される、これらの高品位な PDF や印刷データは、コンプライアンスに準拠し、顧客とのコミュニケーションを円滑にするための重要な役割を占めます。

LiveCycle Content Services ES

Adobe LiveCycle Content Services ES は、コンテンツ管理機能を提供することで LiveCycle プラットフォームの拡充を可能にします。LiveCycle Content Services ES を導入すれば、コンテンツの充実した魅力的なアプリケーションを迅速に開発でき、しかも、これを TCO (総保有コスト) を抑えつつ実現することができます。他の LiveCycle ソリューションとも強固に統合された LiveCycle Content Services ES により、コンテンツとのやり取りが多発するエンドツーエンドのプロセスも素早く実装することが可能です。この際、エンタープライズ仕様のコンテンツリポジトリから、フォーラムやブログといったソーシャルコラボレーションツールに至るまで、LiveCycle Content Services ES は、完全な統合性が備わった一連のコンテンツサービスを提供します。

Adobe、Adobe ロゴ、Flash、LiveCycle、PostScript、Reader および「Engaging beyond the enterprise」は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Eclipse は、Eclipse Foundation の商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.
95010933 6/08